

身も心もポカポカに…

◎心と身体にやさしいおもてなし料理講座

「里芋の豚肉ロール」を調理中



「心と身体にやさしいおもてなし料理講座」は1月26日、日吉保健センターで行われました。この日は、東方健美研究所の新倉久美子氏を講師に迎え、根菜チャウダーや里芋の豚肉ロールなど、旬の食材を使った6品の調理に挑戦。参加者たちは、地域の料理に菜膳の理論と技術を加えた「ふるさと菜膳」の考え方に基づき、協力し合いながら手際よく料理を仕上げていました。

試食後、新倉氏による講義を実施。「冬は保温効果のある食材を組み合わせて調理し、体の中から温めることが大切」と、訴えかけていました。

万が一に備え、地域連携を強化

◎国指定重要文化財善光寺薬師堂防火訓練

地元消防団員による放水訓練



1月26日、文化財防火デーに合わせて、国指定重要文化財である善光寺薬師堂「小松」で、文化財防火訓練が行われました。

この日は、近隣住民や地元消防団員ら約20人が参加。鬼北消防署員の指導の下、善光寺に設置してあるさまざまな防火設備の点検や、放水訓練などが行われ、参加者たちは一つ一つ丁寧に確認しながら、真剣に訓練に取り組んでいました。

また、練習用の水消火器を使用した消火訓練も行われ、参加者一人一人が身を持って、文化財保護と防火に対する意識を向上させていました。

観光目線で見た農山村地域の魅力とは

◎鬼北の里グリーンツーリズム近隣連携研修会

メモを取りながら話を聞く参加者たち



2月5・6日の2日間にわたって、「鬼北の里グリーンツーリズム近隣連携研修会」が行われました。

これは、近隣市町の連携を強化し、観光内容を充実させ集客につなげようと、鬼北の里グリーンツーリズム推進協議会（会長・赤松拓也）が主催したもの。研修会では、近隣市町の活動状況を学ぶため、視察研修などが行われました。

5日には、鬼北町農業公社で、㈱エイチ・アイ・エスの鮫島卓さんを講師に、「旅行会社から見た農山村地域の魅力的な発信について」と題した講習会も実施。参加者は、熱心に耳を傾けていました。

満面の笑みで、盛大に豆まき

◎森の三角ぼうし節分イベント

楽しそうに豆まきをする園児たち



道の駅森の三角ぼうしで2月3日、節分イベントが行われました。

イベントには、近永保育所とさくら保育所の園児たち約30人が参加。園児たちは、豆が入った升を片手に、「福はうち、鬼もうち」と「鬼の棲むまち鬼北町」らしい掛け声とともに、元気いっぱい豆まきを行いました。

豆まき終了後、園児や来場者につきたての杵つきもちが入ったぜんざいが振る舞われ、美味しそうに頬張っていました。

2月1日、誕生から2年目を迎えた「鬼王丸」。これからも、私たちを静かに見守り続けてくれることでしょう。